

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	こども相談課長 内海 春信		
こども-27	重点事業	小児医療助成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	こども相談課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援	

1 事業の目的

対象	0歳～中学校3年生の入・通院した者
意図	医療費を助成することにより、小児の保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。
効果	小児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<p>・食事療養標準負担額を除く0歳～中学校3年生の入・通院にかかる健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。(小・中学生については一定の所得制限あり。)</p>

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		データ区分	01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	人 口	176,466人	176,308人	176,308人	人 口	176,436人		・各年3月31日(住民基本台帳)
	世 帯 数	81,150世帯	81,763世帯	81,763世帯	世 帯 数	82,444世帯		
	事業の対象者数	16,067人	15,656人	15,656人	事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	438,864	472,321	472,321	当初予算(千円)	542,129		
	国県支出金	62,140	61,712	61,712	国県支出金	66,078		
	地方債				地方債			
	その他	657	21	21	その他	40		
	一般財源	376,067	410,588	410,588	一般財源	476,011		
	人員配置数	1.0	1.2	1.2	人員配置数	0.6		
事業経費運営	人件費(千円)	7,765	9,313	9,313	人件費(千円)	4,666		
	総事業費(千円)	446,629	481,634	481,634	総事業費(千円)	546,795		
	市民1人当りの経費(円)	2,531	2,732	2,732	市民1人当りの経費(円)	3,099		
	対象者1人当りの経費(円)	27,798			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	・中学生の通院医療費助成拡大後、助成対象者数、助成件数及び一人当たりの医療費とも横ばい傾向にあるため予算規模は現状維持とする。 ・事業においても同様に助成対象者数、助成件数及び一人当たりの医療費とも横ばい傾向にあるため予算規模は現状維持とする。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	今後も、医療費助成の適正化に努め、安定的かつ継続的な運営を確保しつつ、福祉の増進に努める。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 医療費助成の適正化を確保し安定的かつ継続的な運営を図るため、今後も引き続きレセプト(診療報酬明細書)の点数に連動することまで適正な業務を強化する。 所得制限廃止を含め制度の充実を求める声がある。 	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に引き続き、社会保険診療報酬支払基金に業務委託を行ったことにより受益者の助成の利便性が上がり、業務の効率化を図った。 レセプト点検を強化し社会保険診療報酬支払基金や神奈川県国民健康保険団体連合会と密に連携を行ったことにより給付業務の適正化に努めた。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	他市の状況を確認して医療費助成のあり方について研究をしていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	所得制限なしの年齢									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	就学前	小6	3歳	就学前	就学前	中3	小6	0歳	中3	
	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下

比較事項	一部負担金導入									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	×	×	○	×	×	×	×	×	×	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	一部負担金導入に対する県内各市の対応状況を把握しながら、必要に応じて市としての対応を検討していく。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考					
当該指標を設定した理由		年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
		目標値							
		実績値							
		達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--